

奈良県農業研究開発センター ニュース

2020
12
vol.159

イチゴ新品種 ‘奈乃華’

～色鮮やかで酸味が爽やかなイチゴ～

イチゴの新品種‘奈乃華’^{なのか}を育成しました。本品種は甘みと酸味のバランスが良く、ほどよい硬さが特徴です。

1. 背景と目的

当センターでは、県の主力品種の‘アスカルビー’や‘古都華’を育成してきました。近年、高設栽培の導入によって収穫期間が延長される傾向にあり、高温期においても店持ちと流通性に優れた品種が必要になってきました。そこで、果実硬度が高く、食味が良い品種の育成に取り組みました。

2. 研究成果の概要

‘奈乃華’は2013年に‘さちのか’^{なのか}と‘とちおとめ’^{とちおとめ}を育種親に持つ系統に、‘古都華’^{古都華}を交配した実生から選抜しました。

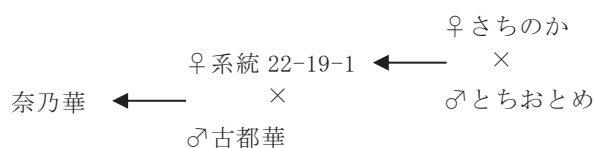


図1 ‘奈乃華’の育成経過

本品種の糖度は‘アスカルビー’より高く、酸度は‘アスカルビー’と‘古都華’よりも高く、甘みと酸味のバランスが良いのが特徴です。果皮が硬く、3月以降の高温期にも食味が安定した品種です(表)。収量は‘古都華’と同程度で‘アスカルビー’よりも少ないですが、ランナーの発生は‘アスカルビー’と同等で苗数の確保が容易です。

表 ‘奈乃華’と既存品種の果実品質(2018年)

調査日	品種	糖度 (%)	酸度 (%)	硬度 (N/5mmφ)
1月9日	奈乃華	11.3	0.54	5.12
	アスカルビー	10.9	0.51	4.20
	古都華	11.5	0.47	4.80
4月2日	奈乃華	11.6	0.60	5.54
	アスカルビー	10.2	0.55	3.88
	古都華	12.2	0.54	5.24

2015～2019年には現地栽培試験を実施し、促成栽培における適応性を確認しました。2019年12月からは‘奈良10号’^{奈良10号}として販売し、卸売市場や、県内外の量販店、直売所等で高い評価が得られ、一定の市場ニーズがあると判断できましたので2020年8月26日に品種登録出願し、11月10日に出願公表されました。



図2 ‘奈乃華’の果実

3. 実用化に向けた対応

本年度、県内の51生産者が‘奈乃華’を栽培しています。‘アスカルビー’、‘古都華’、‘珠姫’^{珠姫}と並んで多くの消費者に味わっていただける品種になることを期待しています。

(育種科 矢奥 泰章)